

平成26年度

総務部 組織目標設定シート

組織の方針	今年度の目標設定		
A 組織の方針(使命) 組織の基本方針又は使命	B 重点目標項目 組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に	C 設定理由・考え方 どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか (できるだけ定量的に記入)	D 活動(手段) 重点目標項目を実現するため行う活動や手段
地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められている中であって、市の業務の総合的な管理と職員の育成を進め、適正かつ公正で、透明性が高く、効果的な行政を進める行財政運営の基盤を確立する。	1. 開かれた市政に向けた仕組みの充実	・ 市政への信頼確立と市民参画の推進を図るため、一層の情報公開を進めるとともに、更なる個人情報保護意識の高揚を図るための取り組みを推進する。	・ 個人情報保護研修会の実施 ・ 「行政資料コーナー」配架方法の見直し ・ 出資法人等の情報公開の充実
	2. 平和都市推進協議会との連携と平和施策の推進	・ 平和都市推進協議会と連携を図りながら、市民の平和意識の高揚を図るための取り組みを推進する。	・ 「平和のつどい」をはじめとする各種平和推進事業の積極的な周知と円滑な実施
	3. 財政健全化の推進	・ 健全な財政運営を推進するため、自主財源の確保に努める。	・ ふるさと納税制度の拡充等により新たな財源確保を行う。
	4. 時間外勤務の縮減に向けての取り組み	・ 過重労働による健康被害の防止のため、特に長時間勤務者の減少を図る施策を中心に、時間外・休日勤務縮減計画に基づき、対策を実施する。	・ 時間外勤務時間数、長時間勤務者等の情報に前年度の実施状況との比較を加えたものを、部局長と副部長へ毎月通知し、各部局が積極的に管理・対策を行うように促す。 ・ 長時間勤務者について勤務状況、要因を所属長から毎月報告してもらい、継続的に管理し、それを基に縮減に向けた面談等を実施する。
	5. 人事評価の安定的かつ円滑な運営	・ 本格実施に伴い生じた課題や評価結果の傾向を分析し、人事評価制度を安定的に円滑に運営していくことをめざす。	・ 人事評価制度の本格実施後に生じている課題や問題点の洗い出しを常時行う。 ・ 評価結果の分析を行い、人事評価制度の改善を常時図っていく。 ・ 職員の理解を深めるため、業績評価における適切な目標設定についての研修を実施する。
	6. 情報システムの安全性の向上	・ 災害及びシステム障害発生時における迅速な業務復旧と継続を図るため、住基関係証明書発行用システムの構築を行う。	・ 広域データバックアップサービスを利用整備するとともに、必要となる機器等の整備を進める。